

令和6年度 事業所における自己評価・総括表（公表）

児童発達支援センター「ひまわり」

回収 42部 【令和7年3月公表】

※主な意見等の抜粋より

チェック項目	とても	まあ	どちら	あまり	まったく	意見等	工夫や改善すべき点など	
	そう	そう	ともい	そうで	もでは			
	5	4	3	2	1			
環境・体制整備	① 指導訓練室等、スペースに対し、利用定員は適切であるか	5	16	13	7	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>時差をつけて少人数で部屋を利用している</li> <li>サークルを利用して空間を分けている</li> <li>環境設定ヘルプを出す</li> <li>バギーや座位保持椅子の位置を考えている</li> <li>机椅子の配置、パーテーションを使用している</li> <li>クラス採配次第の所が大きいと思う</li> <li>部屋をパーテーションで区切るなど人数の多いクラスは活動に応じて部屋を分けている</li> <li>パーテーションなどでスペースを区切り、排泄コーナーを設定している</li> <li>指導室だけでなく、広場やホールを使用している</li> <li>整理整頓を心がけている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基準の配置としては適切だが、個別支援や子どもの状況により、パーテーションなど有効に使う必要がある。特に年長児等身体の大きさや活発さも併い基準配置のスペースでは厳しく個室等も必要。</li> <li>様子に合わせて職員を配置し、療育を充実させたい。</li> </ul>
	② 職員の配置数は適切であるか(見4人:職員1人)	8	11	7	12	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全に過ごすことを第一にしている</li> <li>工夫するが難しい 休憩 お便りの時間に変わる職員の分かっていて安定して入れないと厳しい</li> <li>法定配置は満たしているが、丁寧に対応するためには、もっと人数がいる方がよい</li> <li>十分な支援を行うためグループ担当の保育士以外が事務時間に保育に入っている</li> <li>職員で協力し合って適切な支援ができるようにしている</li> <li>子どもの様子や活動内容によって配置職員を増やすようにしている</li> <li>事前のカンファレンスで、活動内容を共有し、無駄な動きが無いように工夫している</li> <li>安全に過ごすことを第一にしている</li> <li>手の空いている職員が融通して助け合っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員配置について基準・加配の配置もしているもの、個別に対応する必要がある場合には、職員の余力の加配配置が必要になる。基準を変えることは難しいが、工夫する話し合いをする時間の捻出が必要。他事業所等参考にできるところがあればしていきたい。</li> <li>職員配置は満たしているが、子どもの支援に十分に手が足りていない。全てのクラスを毎日難しいが、クラス毎に期間を決めるなどし+1名の人員をつけ目的をもって支援できるとよい。</li> </ul>
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、バリアフリー化や情報伝達の配慮が適切になされているか	0	22	14	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵カードを使用して、視覚的にわかりやすいようにしている</li> <li>それぞれに合わせた工夫をしているが、それがかえってごちゃごちゃしてしまうこともあるように思う</li> <li>構造化、分かりやすい空間を作る</li> <li>必要なものだけ出し、気になるものはしまっておく</li> <li>個人の特性に合わせた座席位置や支援グッズを使用している</li> <li>絵カードなど視覚情報の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの学年やクラス毎に生活空間を見直し、検証していく</li> </ul>
	④ 生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	1	15	18	7	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>掃除はしているものの、部屋が狭い</li> <li>トイレ内のマットの色を分け、おむつ替えのスペースがわかりやすいようにしている</li> <li>15名ひとクラスではなかなか難しい</li> <li>老朽化が進んでいるが、使用しているマットなどは毎日消毒している</li> <li>建物の老朽化から、快適とはいえないことも</li> <li>アリが保育室に入ってくることも多い</li> <li>机や椅子など必要なものは子どもの姿に合わせて配置している</li> <li>建物の劣化や増築等により保育室が通路になっていたり、予算の都合上修繕されずにいる箇所があったり快適とはいえない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化に伴い、あちこちで修繕が必要な箇所が続出し、ガード等で対応している。順次修繕を行っているが修繕箇所が多く対処が追いついていない現状。網戸や戸の建付け等も動きがスムーズではない。</li> <li>掃除する時間なかなか取れないが、簡易掃除用具を購入し手軽に掃除できるようにした。</li> </ul>
	⑤ 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められているか	6	18	9	5	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の部屋はないため、広場でパーテーションを使っている。話し声や人の動きなどは簡抜けなので集中できる環境を整えられているかは不明</li> <li>パーテーションを使用して、必要に応じて仕切りや個室を作っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空間を区切る為のパーテーションを有効活用している</li> </ul>
業務改善	⑥ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標と設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	3	20	15	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラス会議を行ったり、いつでも話し合えるような雰囲気を作っている</li> <li>毎回の振り返りを行う</li> <li>職員同士で話し振り返りを丁寧に行なっている</li> <li>ケース記録記入時に振り返りを行っている、学期ごとではクラス会議を設けている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返り・分析をし次年度につなげている。</li> </ul>
	⑦ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	25	10	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなで改善点を話し合い改善策を考えている</li> <li>家庭の状況に合わせて随時面談をしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返り・分析をし次年度につなげている。</li> </ul>
	⑧ 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	4	18	14	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員会議での把握</li> <li>行事後にはアンケートをとっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションを図る時間の確保が難しく、現組織体制の検討をし図りやすい環境を作っている。</li> </ul>
	⑨ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価をおこなうとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11	14	15	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度当初・年度末に公開する旨を周知している</li> </ul>	
	⑩ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	16	16	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度より、第三者による評価を行い改善につなげていく。</li> </ul>

適切な支援の提供	⑪	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	17	20	5	0	0	・研修は実施しているが、検討が必要と思う	・外部等へ研修に参加した際には、報告をし全体で共有できるように努めているが十分な時間の確保が難しい。
	⑫	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	6	24	10	2	0		・今年度より、HPに掲載する。
	⑬	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	13	23	6	0	0	・丁寧にアセスメントを行い、ニーズの共有に努めている	
	⑭	子どもの適応状況の状況を標準化されたアセスメントツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	3	23	14	2	0	・標準化されたアセスメントツールは使用していないため、日々の行動観察からアセスメントをしているため、根拠があるかどうかは不明な部分もあり、今後工夫が必要だと思う ・場合によっては記録を毎日とり、傾向をみる	・アセスメントシートをより利用しやすくなるよう、共有していく。
	⑮	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか	9	23	10	0	0	・重複する視点もあり悩むところが多々ある	
	⑯	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理者だけではなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解のもとで、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	12	24	4	2	0		
	⑰	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	26	6	3	0		
	⑱	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	24	7	2	0	・疑問点はすぐに話し合う環境作り	・活動のねらいや環境設定などについて、より意識できるようアイデアを更に活用していく。
	⑲	活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	8	26	5	3	0	・他クラスで行って、子どもたちの反応が良かったプログラムをおこなっている ・毎回の振り返りからその時や個人・集団にあった活動を検討している	
	⑳	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8	24	8	2	0	・個別活動に関しては職員の体制により難しいところがあるが、何とか時間を作るように工夫している	
㉑	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	10	25	5	1	1	・登園バスに乗車する職員がおり、必ず出ないが子どもが来てから短く打ち合わせをして乗り切っている ・ケース記録記入時に振り返り反省している	・他業務もあり、複数担任全員が同じ時間に共有することの難しさはあるべく共有できるよう努めている。	
㉒	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをしその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	22	7	2	1	・記録を書きながら話すようにしているが、時間がないうちもある ・降園バス乗車する職員や時間休の職員がおり、必ず出ないが、いる職員数人で行う ・バス添乗、時短勤務などで、全員で振り返るのが難しい状況もある		
㉓	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	15	21	6	0	0			
㉔	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか	11	19	12	0	0			
関係機関や保護者との連携	㉕	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11	17	12	2	0		
	㉖	母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援をおこなっているか	11	15	14	2	0		・参加し得た情報等を職員間で共有していく。
	㉗	地域の保健、医療、障害福祉、保育教育等の関係機関と連携した支援を行う体制を整えているか	10	20	9	3	0		・参加し得た情報等を職員間で共有していく。
	㉘	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えているか	12	20	8	2	0	・職員は頑張っている	
	㉙	並行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。またその際保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	23	9	2	1	・移行に向けた見学同行	
	㉚	就学時の移行支援として、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	13	23	6	0	0	・かけはしシートの作成と特別支援学校への引き継ぎ	
	㉛	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所と連携を図り、地域全体の向上に資する取り組み等を行っているか	5	18	14	5	0		・連携を図る機会があるが、現場の職員にも取り組みや方向性について伝えていく。
	㉜	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか	13	19	9	1	0		
	㉝	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	9	16	16	1	0		・参加する機会があるが、現場の職員にも取り組みや方向性について伝えていく。
	㉞	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	11	22	7	2	0		
	㉟	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	13	25	3	1	0	・ノートの活用と必要に応じて面談を行っている	
	㊱	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等が参加できる研修会や情報提供等を行っているか	15	19	7	1	0	・ペアトレ、懇談会や父親参加会での勉強会等の提供	・行事の組みあわせ等であるべく参加できる機会を増やせる等検討していく。
	㊲	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	23	10	1	0		

38	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか	13	19	10	0	0	・計画作成時だけでなく、日頃から保護者とのコミュニケーションを図っている ・保護者に対してインフォームドコンセントを行っている	
39	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	20	16	6	0	0		
40	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか	15	21	6	0	0	・保護者から相談があれば、面談を設定している	
41	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。また、兄弟同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか	6	24	8	3	1	・懇談会のあとに交流会を実施した	・兄弟で交流できる場として、目的等検討していく
42	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談の申し出があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	22	8	0	0		
43	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	16	12	7	0	・園だよりの発行 もっとSNSを活用できると良い	・ICTの活用など、アプリ等を利用できないか。
44	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	26	12	4	0	0		
45	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	13	23	5	1	0	・特にほかほかの子にとっては、もっと使えるツールが増えていくと良いと思う	
46	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	10	20	12	0	0	・友愛のさと祭り	
47	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	15	18	8	1	0	・訓練は行って反省も記入しているが十分に検討しきれていないところもある	
48	業務継続計画を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	14	19	8	1	0	・重心のお子さんの避難が不安	
49	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	21	15	6	0	0		
50	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	23	13	5	1	0		
51	安全計画を策定し、安全管理に必要な研修や訓練を行い、安全管理が充分な中で支援が行われているか	12	21	9	0	0	散歩計画の記入	
52	子どもの安全確保に関して、家族等の連携が図られるよう、安全計画に基づく取り組み内容について、家族等に周知しているか	9	20	12	1	0		
53	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか	21	16	5	0	0		
54	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	19	16	6	1	0		
55	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	22	14	5	1	0		

### ☆分析結果(総括)

事業所の強みだと思われること	工夫していること・意識的に行っている取り組み等	改善に向けて必要な取り組み等
・多様な専門性を持つ職員が、日々子どもたちの支援に係る体制作り。	・多様な専門的視点による支援を実施することができます。(個々のアセスメントを各専門職の視点を持ち行う)	・子どもの特性への理解を深め多様な専門職間での連携を高めることで、より支援の質を高めることができるよう取り組んでいきます。
	・法人内の機関で互いに意見交換や情報共有を行うことができている。	・定期的な情報共有の機会を設ける。

事業所の弱みだと思われること	工夫していること・意識的に行っている取り組み等	改善に向けて必要な取り組み等
・定員80名に対する職員数・組織の大きさによる情報の交錯や煩雑さ等整理が追いついていない。	・各々の業務等に関する情報整理をしているが、伝達や周知が容易ではない。	・業務のスリム化を図る。ICT導入の検討等。

